PRESS RELEASE

在デトロイト日本国総領事館 令和2年4月29日

令和2年春の外国人叙勲 ウィリアム・P・マーム氏の旭日中綬章受章

令和2年4月29日(日本時間)、日本政府は、令和2年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でウィリアム・P・マーム氏が叙勲されることが公表されました。同氏は、日本と米国間の学術交流の促進、及び関係強化に寄与した功績が認められ、本年、旭日中綬章を受章することとなりました。

賞賜: 旭日中綬章

功績概要: 日本・米国間の学術交流の促進、及び関係強化に寄与

氏名: ウィリアム・P・マーム (William P Malm) (92歳)

主要経歴: ミシガン大学名誉教授、元ミシガン大学音楽学部教授

住所(国籍): アメリカ合衆国ミシガン州アナーバー市

マーム氏は、西欧における日本音楽研究の先駆者として、楽譜、和音、リズムが西欧の音楽とは全く異なる日本の音楽を理論的に説明し、それまで知る人の少なかった日本音楽を米国に紹介することに尽力されました。

昭和34年に出版された「Japanese Music and Musical Instruments」は、英語でなされたこの分野での最初の学術的かつ総合的な研究として高く評価され、ニューヨークタイムズ紙でも紹介されたほか、平成12年には「日本伝統音楽集成」として再度出版されるに至るなど、同著作はこの分野で最も権威のある書籍の一つとされてきました。

さらに、マーム氏は、日米の研究者と学術・知的交流を積極的に推進された他、長年に渡り、ミシガン大学等で、音楽理論、民族音楽学、日本音楽の講義を行い、次世代の研究者の育成にも大きな貢献をされました。これまでに、小泉文夫音楽賞をはじめとした、数々の賞を受賞されております。